

1977年～

| ～なぜ神戸でユニバーサルデザインの取り組みが必要であったのか～ | | | | | | |
|---|--|--|---|---|--------------------|---|
| 神戸のまちとユニバーサルデザイン | | | こうべUD広場の発足から全市への呼びかけ | | | |
| 一九七七年 | 一九九五年 | 二〇〇一年 | 二〇〇二年 | 二〇〇三年 | 二〇〇四年 | 二〇〇四年 |
| 昭和52年 | 平成7年 | 平成13年 | 平成14年 | 平成15年 | 平成16年 | 平成16年 |
| 「神戸市民の福祉をまもる条例制定」 | 阪神1月・淡路大震災発生 | 長田区ユニバーサルデザイン研究会発足 | 政策提言会議開催 | こうべUD広場（こうべユニバーサルデザイン推進会議）発足 | 「ユニバーサルデザイン2003」開催 | 「こうべUD広場からの呼びかけ」策定 |
| 神戸市では他都市に先駆け、すべての市民が安全で快適に暮らし、様々な社会活動に参加できる「福祉のまちづくり」を推進 | 震災時の地域での助け合いの経験や復旧・復興の過程において、市民が主体的にまちづくりにかかわっていきこうという動きに市内各所でユニバーサルデザインへの取り組みが活性化していく | 震災で大きな被害を受けた長田区で発足まちづくりの中にユニバーサルデザインを取り入れるなど神戸で最初の取り組みがスタート高齢者人口の増加や障がい者の社会進出などを背景として「ユニバーサルデザイン」に着目ユニバーサルデザインについて研究し、その考え方もとびついた、人に優しいまちづくりを進めていくことを目指すユニバーサルデザインの学習に取り組む人が増加 | 様々な分野で経験と実績の豊かな市民が集結「ユニバーサルデザイン」がテーマの一つとして取り上げられる | 市民・事業者・行政が共通の理解と目標のもと参画し、実行していく事が必要！ | 「ユニバーサルデザイン2003」開催 | 「世界一ユニバーサルなまち神戸をめざして」と題し、みんなが目指すべき目標や取り組むべき具体的な内容を取りまとめ、呼びかける |
| ユニバーサルデザインへの取り組みが、思いあう心を育み、互いに支えあいながら、だれもが安心して暮らせるまちづくりの実現につながる | | | 私たち自身の手で「ユニバーサルなまち神戸」を実現しよう！ | 月1回開催 | | UDフェア 毎年開催 |
| | | | | 神戸を世界一ユニバーサルなまちにしていこうと有志で呼びかけを行う ≪呼びかけ人≫ ※肩書は当時 摂南大学教授 田中 直人 社会福祉法人プロップステーション理事長 竹中 ナミ 近畿タクシー(株)代表取締役社長 森崎 清登 (長田区ユニバーサル研究会会長) 「ユニバーサルデザイン(UD)」の輪を一層広げ、神戸を世界一のUDのまちにと公募市民、事業者、学校関係者、NPO団体などが参画講座や施設見学などを通して、ユニバーサルデザインに関する共通認識を持ちながら、実現に向けた議論を重ねる | | |
| 広くユニバーサルデザインの考え方が理解され、神戸のまち全域で取り組みが始められることを願う | | | | | | |

2005年～

| ～どうしたらユニバーサルなまち神戸になるのか～ | | | | |
|--|--|---|---|---|
| ユニバーサルな社会の実現に向けて | | | | |
| 二〇〇五年 | 二〇〇八年 | 二〇〇九年 | 二〇一〇年 | 二〇一二年 |
| 平成17年 | 平成20年 | 平成21年 | 平成22年 | 平成24年 |
| 「第3回ユニバーサルデザイン全国大会」開催 | 「UD出前授業」を開始 | 「夏休み子どもUD体験教室」開催 | 「UDカルタ」作成 | 「UD事例集」発行 |
| | 毎年実施 | 毎年開催 | 貸出実施 | 継続実施 |
| 震災から10年にあたる年に神戸で開催 市民一人一人が主体となって取り組んだ「ユニバーサルなまち神戸」の姿を全国・世界に発信 | UDの「意識づくり」のため、UDサポーターが講師の「UD出前授業・学習会」を市内の学校、地域の学習会で実施。 もののUDやまちのUDを学びながら、UDの仕組みづくり、心のUDについての理解を深める。 | 夏休みを活用して、小学生が体験型でUDを学ぶイベントにサポート役として参加。 平成25年より保護者にもUDについて学んでもらい、体験教室後も親子でUDについてともに話し合い、UDへの理解を深めるきっかけとなるような企画となっている。 | 「こうべアイデアコンクール」で募集した「UD川柳」の中から、選考した作品をカルタに カルタの形状、デザインなどにもUDの視点を取り入れている小学校などの教育機関、ふれあいのまちづくり協議会、地域団体などに貸出しをしている | 地域の様々な活動をユニバーサルデザインの視点で取材し、冊子にまとめる Vol.1からVol.4 ふれあいのまちづくり協議会のUDへの取り組みを取材 Vol.5、Vol.6 地域や大学、企業などを取材 UDの考え方が取り入れられた事例がさらに広がっていく事を目指しています！ 今後はしあわせの村ホームページで発信する予定です |

～世界一ユニバーサルなまち神戸をめざして～

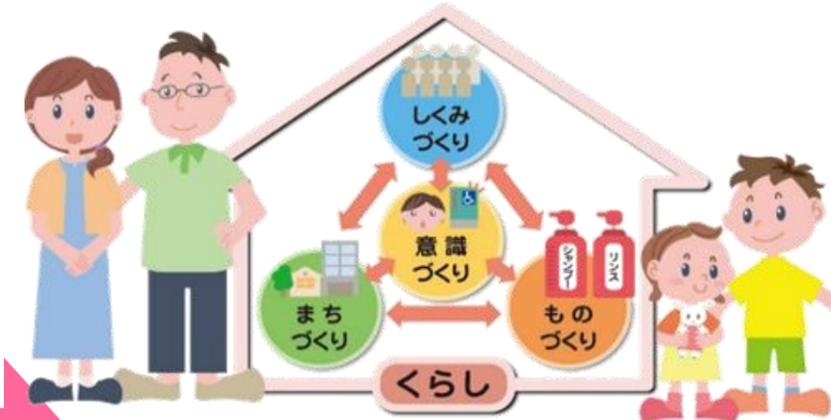
こうべUD広場から神戸を愛するみなさんへ

神戸を世界一ユニバーサルなまちにするために、私たちと一っしょにユニバーサル社会の実現に向けて取り組んでいきましょう。「ユニバーサルなまち神戸」とは何か、その実現のために私たちは何をしたらいいのかをまとめたものをみなさんと分かち合いたいです。私たちは、表題の“ユニバーサルな”という言葉は、“魅力的な”“ステキな”“居心地のよい”“しなやかな”“心がおしゃれな”“人にやさしい 人がやさしい”... など、いろいろな言葉におきかえられるのではないかと考えました。みなさんは、“ユニバーサルな”という言葉をごどんな言葉におきかえますか？この呼びかけを読んでいただき、一っしょに考えましょう

- ・ こうべユニバーサルデザインのシンボルマークを公募により作成
ユニバーサルデザインの「U」、「D」をモチーフに、すべての人にやさしいデザインを人々の笑顔で表現。赤・緑・青は、ポートタワー・山・海を表し、神戸のまちにあふれる笑顔イメージしている



2013年～

| | | | |
|---|----|-------|--|
| ～どうしたらユニバーサルなまち神戸になるのか～ | | | |
| ユニバーサルな社会の実現に向けて | | | |
| 二〇一三年 | から | 二〇二二年 | |
| 平成25年 | | 令和4年 | |
| <p>現在・・・ 広場のメンバーは「神戸UD活動サポーター」の名称で市民ボランティアとして活動している</p> <p>構成メンバー: 座長:島根大学客員教授 田中 直人 青山 治雄・片岡 幸彦・川端 皓孔 北井 正昭・庄田 洋一・宮林 立江 米津 佐和子・石井 雪子・江田 正子 和田 佳代・福本 詳万・今井 晴美 永崎 富代・芝野 一志・伊牟田 雅子</p> <p>こうべUD活動サポーター 登録人数:17名(2022年12月現在) 事務局:公益財団法人こうべ市民福祉振興協会</p> | | | <h1>みんなにやさしい 意識づくり</h1>  |
| <p>活動内容</p> <p>(1)「こうべUD広場」定期的な開催(1回/月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・UD情報の収集・発信、情報共有 ・小中学校への出前授業等の講師や地域へのUD学習、UD出前授業の教材開発(令和4年度は出前事業市内20校実施) ・UD啓発のアドバイザーとして活動するサポーターを育成 <p>(2)「UD出前授業・学習会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・UDの「意識づくり」のためUDサポーターが講師の「UD出前授業・学習会」を市内の学校、地域の学習会で実施 <p>(3)様々な施設へUD見学会の実施(令和4年度は中央区役所見学会を実施)</p> | | | <p>これから・・・</p> <h1>⇒心のユニバーサルデザイン</h1> |

阪神・淡路大震災後、神戸を世界一ユニバーサルなまちにしようと「こうべUD広場」の活動は始まりました。

ユニバーサルデザインの4本柱(意識づくり・まちづくり・ものづくり・しくみづくり)の呼びかけを提唱し、UD出前授業、夏休み親子UD教室、UD事例集、こうべユニバーサルデザインフェアへの参加など、今後も多様な場面で活動していきます！